



三和グループの使命である「安全、安心、快適」を世界に広げ、
人々の大切な暮らしを守り、より豊かで暮らしやすい社会を実現することが、
私たちの目指す「高機能開口部」におけるグローバルリーダーの姿です。

三和グループが社会に対して果たすべき使命

安全、安心、快適を
提供することにより社会に貢献します

三和グループの経営理念

- 一、お客さますべてが満足する
商品、サービスを提供します
- 一、世界の各地域で評価される
グローバルな企業グループとなります
- 一、個人の創造力を結集して
チームワークにより、
企業価値を高めます



01

イントロダクション

価値創造のストーリー
ビジョンと戦略

経営資源の強化

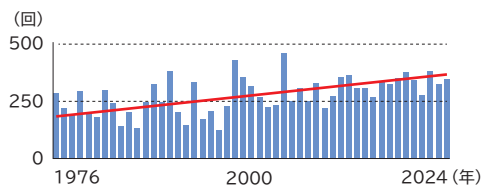
グループの経営基盤

データセクション

災害から身を守ることでできる 安全な暮らしを実現

気候変動に伴い、世界各地で集中豪雨や台風による自然災害が激化し、国内でも地震や津波への備えが喫緊の課題となっています。こうした背景のもと、三和グループは、浸水に備える防水商品や風害を防ぐ耐風商品などの提供を通じて、建物やインフラの安全を守るニーズの高まりに応じています。今後も社会と人々の暮らしを守る商品・技術の開発に取り組み、「安全な暮らし」の実現に貢献しています。

1時間降水量50mm以上の年間発生回数



出典：気象庁「大雨や猛暑日など(極端現象)のこれまでの変化」
※直線(赤)は長期変化傾向を示す

商品を通じた価値提供

水害・火災に対応可能な マルチハザード対応シャッター

三和シャッター工業が防水商品の開発に乗り出したきっかけは、2011年の東日本大震災による津波被害です。浸水被害を防ぐ機能を備えたシャッターやドアへのニーズが顕在化したことで、2014年には「ウォーターガード 防水シャッター／Wタイトドア」を発売。その後も現在に至るまで、更なる性能の向上や操作性の改善を行い、商品ラインアップの拡充を進めてきました。

近年では、集中豪雨や都市型水害の増加を受けてハザードマップが見直され、地下街や地下鉄、インフラ施設などにおいて、高性能な商品への要望が更に高まっています。こうした社会的課題に応えるため、当社は2021年に、業界初の防水と防火・防煙の機能を併せ持つマルチハザード対応シャッター「ウォーターガード 防水シャッター 防火・防煙タイプ」を開発しました。これにより、防水性能と防火・防煙性能を求められる建物の出入口をシャッター1枚で担うことが可能となりました。

本製品は「防災防疫製品大賞2021 最優秀賞(新製品開発部門)」を受賞するなど、高く評価されました。

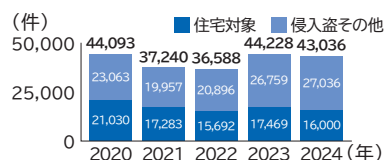


「ウォーターガード 防水シャッター 防火・防煙タイプ」
(三和シャッター工業)

犯罪から命・財産を守ることができる 安心な暮らしを実現

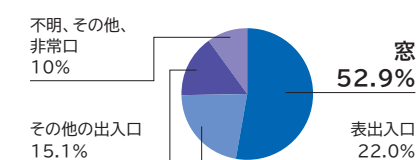
近年、手口が巧妙かつ凶悪化した侵入犯罪が全国で相次いで報告され、住宅の防犯性能の重要性が注目されています。こうした背景のもと、三和グループでは、防犯商品の提供を通じ、命と財産を守る「安心な暮らし」の実現に貢献しています。

侵入窃盗 認知件数



出典：警察庁「犯罪統計資料令和6年1～12月分【確定値】」

一戸建住宅における侵入窃盗の侵入口(令和6年)



出典：警察庁「住まいる防犯110番」

商品を通じた価値提供

防犯性を高め、 命と財産を守る窓シャッター

空き巣や強盗などの侵入窃盗では、侵入経路として最も多いのが窓であり、窓シャッターの設置は、侵入窃盗対策に大きな効果を発揮します。三和シャッター工業では、1956年の創業当初からシャッターの製造を手がけ、1969年には窓の防犯性能を高める窓シャッターを発売しました。三和シャッター工業の窓シャッターは、こじ開けや破壊行為に対する高い耐性とプライバシー保護効果を備えており、夜間や留守中も住まいをしっかりとガードします。また、タイマー設定による自動開閉や外出先からのスマートフォンでの操作も可能であり、不在時でも第三者に留守を悟らせない効果も期待できます。

近年では、防犯性能に加えて耐風・IoT仕様といった多彩な機能を備えた商品の開発にも力を入れており、住宅やマンションに調和した省スペースなデザインや電動化による操作性、リフォーム対応にも配慮。三和グループは、今後も高性能な防犯商品づくりを通じて、安心な暮らしに貢献していきます。

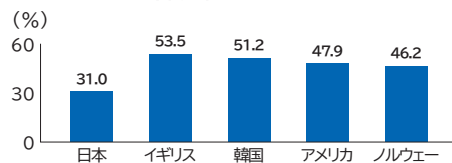


窓シャッター「マドモア」シリーズ
(三和シャッター工業)

デジタル技術を活用した 快適な暮らしを実現

IoT技術の進化により、住宅設備や家電をインターネットでつなぎ、快適かつ便利な生活を実現する「スマートホーム」が一般的になりつつあります。特に住宅が大きく、Eコマース利用が盛んな欧米で普及しており、日本でも今後普及が進むと予想されています。三和グループでは、スマートホームの一環として連携可能なガレージシャッターや窓シャッターを提供し、「快適な暮らし」の実現に貢献しています。

スマートホーム普及率



出典: Statista Japan 調べ(2023年調査)

商品を通じた価値提供

スマートホーム・ソリューションの提供

三和グループでは、各地域の気候やライフスタイルに合わせた商品を開発・提供し、スマートホームの実現に貢献しています。例えば日本の三和シャッター工業や欧州のノボフェルムにおいては、スマートホームシステムと連携することで、ほかの家電や住宅設備と一元管理でき、スマートフォンやスマートスピーカーで操作できるガレージシャッターや窓シャッターを提供。外出先からでも簡単に開閉でき、利便性と安全性の両立を実現しています。Eコマース利用の多い米州のオーバーヘッドドア(以下、ODC)では、荷物の配送時に配達員が専用端末で荷物をスキャンすることで、1回限りのガレージドア開閉権限を取得し、盗難リスクをおさえてガレージ内への安全な配達を可能にするサービスも展開しています。今後も、技術革新と社会課題の変化に柔軟に対応しながら、こうした商品・サービスを通じて、より快適な暮らしを実現するソリューションの創出を続けていきます。



スマートフォン操作システム
Aladdin Connect(ODC)

At a Glance

1986年に三和シャッター(香港)を設立したのを皮切りに、三和グループは国内同業他社に先駆けて、グローバル化を進展させてきました。
現在では、世界28の国と地域で事業活動を展開し、高機能開口部のグローバルリーダーとして、
主要地域である、日本・米州・欧州では、いずれも強力なプレゼンスを確立しています。

2025年3月期

財務関連指標(連結)

売上高
6,624億円

営業利益
805億円

営業利益率
12.2%

ROE
19.0%

ROIC
18.5%

気候変動対応・防災に貢献する商品の売上高

気候変動の緩和に
貢献する商品

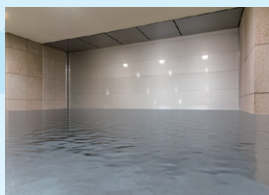
1,062億円

気候変動の適応に
貢献する商品

261億円

防災商品

811億円



グローバルネットワーク

28の国と地域

製造拠点 **59** カ所

海外売上高比率 **56.6%**
20年で **1.7** 倍

従業員数 **13,116**名

マーケットシェア

当社グループでは、さまざまなニーズに合わせ、あらゆる建物における開口部に、「安全、安心、快適」が実現できるトータルな提案を行っています。

No.1 分野 6 分野



ガレージドア

1 日本

2 米州 欧州



スチールドア

1 日本

2 欧州



シャッター

1 日本

2 米州



産業用セクショナルドア

1 日本

2 米州 欧州



軽量引き戸

1 日本



ステンレスフロント

1 日本

商品情報

三和グループの商品は、戸建・集合住宅をはじめ、商業施設やオフィスビル、学校、医療・福祉施設、工場や倉庫など、幅広く使用され、暮らしの中に安全、安心、快適を提供することで更にその価値が広がっています。

安全、安心、快適を広げる 三和グループ商品



商業施設・
オフィス・ホテル



工場・倉庫・
データセンター



医療・福祉施設



学校



戸建住宅



集合住宅

基幹商品

シャッター



展開地域

日本 1位	米州 2位
欧州	アジア

建物・用途



産業用セクショナルドア



日本 1位	米州 2位
欧州 2位	アジア



ガレージドア



日本 1位	米州 2位
欧州 2位	アジア



高速シートシャッター



日本 1位	米州
欧州	アジア



開閉機



日本	米州 2位
欧州	アジア



スチールドア



日本 1位	米州
欧州 2位	アジア



多品種化商品

パーティション



展開地域

日本	米州
欧州	アジア

建物・用途



防水商品



日本	米州
欧州	アジア



アルミ/ステンレスフロント



日本 2位	米州
欧州	アジア



メールボックス/宅配ボックス



日本 2位	米州
欧州	アジア



自動ドア



日本	米州
欧州	アジア



軽量引き戸



日本 1位	米州
欧州	アジア



ビルの中の三和グループ商品

オフィスエリア

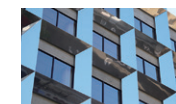


パーティション

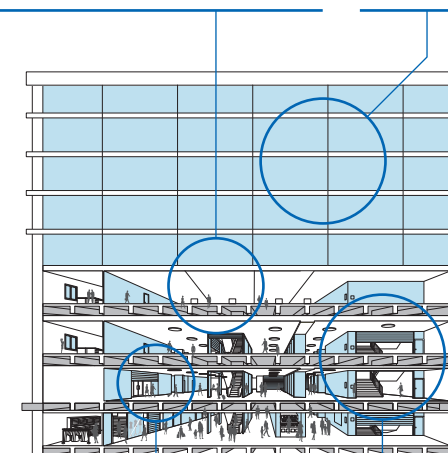


トイレブース

ビル外壁



ファサード



エントランスエリア



自動ドア



アルミ/
ステンレスフロント

防火区画



防火・防煙シャッター



メールボックス/
宅配ボックス



防水商品



防火ドア
(スチールドア)

目次

1 インTRODクシヨ

三和グループの企業使命	01
At a Glance	05
商品情報	06
目次	07

2 価値創造ストーリー

社長メッセージ	08
これまでの歩み	13
価値創造の源泉	15
価値創造モデル	16
ステークホルダーへの価値提供	17

3 ビジヨ

三和グローバルビジヨ2030	18
中期経営計画2024の振り返り	19
中期経営計画2027	20
財務戦略	22
特集 三和グループのグローバル戦略	26
地域別戦略	
日本	29
米州	30
欧州	31
アジア	32

4 経営資源の強化

ESGマテリアリティ	33
ESGマテリアリティ特定プロセスと推進体制	34
ESGマテリアリティとKPI	35
リスクと機会	36
ものづくり	37
特集 新たな付加価値を生むデジタル化戦略	39
環境	41
人	43

5 グループの経営基盤

社外取締役とアナリストの対話	47
役員一覧	51
コーポレート・ガバナンス	52
リスク管理	58
コンプライアンス	59

6 データセクション

財務・非財務ハイライト	60
10 年サマリー	62
グローバルネットワーク	63
企業情報	64

三和グループは何を目指すのか

企業使命・企業文化とグループの概要をご紹介します。

三和グループはどのように価値を創造しているのか

これまでの歩みの中で培った競争優位性と、それを起点とした価値創造についてご紹介します。

三和グループの成長戦略とは

2030年のありたい姿と、それを実現するための戦略として新中期経営計画2027をご紹介します。

三和グループのサステナビリティとは

成長戦略を支える経営資源の強化として、サステナビリティの取り組みについてご紹介します。

三和グループの経営基盤とは

更なるガバナンス強化のためのポイントと、ガバナンスの実効性を高める取り組みをご紹介します。

コミュニケーションの全体像



編集方針

本報告書は、当社グループの経営状況や事業概況、外部環境を財務・非財務の両面からお伝えする目的で制作しています。編集にあたってはIFRS財団が提唱する「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省の「価値協創ガイド」、および「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」の提言などを参考にしています。

見通しに関するご注意

本報告書中の将来の見通しについては、当社が現在入手可能な情報から、本報告書の作成時点において行った予測をもとに記載しているもので、一定のリスクや不確実性を内包しています。したがって、実際の業績が本報告書に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おください。